

【大切なことですから、本欄を読んで必ず守ってください】

2025年1月1日
公益財団法人 日本水泳連盟

I 宣伝・広告の媒体について

本連盟では選手や役員のみなさんが宣伝・広告の媒体とならないように競技会の会場内（招集所出口からテーブル・植栽・柵・チェーン・パーテーション等の造作物で仕切られた範囲内）で着たり、持ち込んだりするもの、たとえば水着やシャツ、トレーニングウェア、バッグなどのロゴマーク（商標・商標名の総称）などについて次のように制限をしています。よく読んで必ず守ってください。

1 ついていてもよいもの

- (1) 自分の氏名、エントリーした所属（チーム・学校・クラブ等）の名称・マーク。
- (2) オリンピック大会や世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク。
- (3) 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク。
- (4) 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。
- (5) 水着・ウェア等のメーカーのロゴマーク。
- (6) 事前承認を得たスポンサーのロゴマーク。

2 それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。

ロゴマークの種類／用途	水着についてよい大きさと数	ウェアについてよい大きさと数	その他のものについてよい大きさと数
上記の(1)～(4)	競泳は50cm ² 以内で1カ所。 競泳以外の競技は大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。
メーカーのロゴマーク	メーカーロゴまたはマークは30cm ² 以内で1カ所。（注1）	メーカーロゴは40cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。	メーカーロゴは20cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。
事前承認を得たスポンサーのロゴマーク	30cm ² 以内で1カ所。	40cm ² 以内で1カ所。	20cm ² 以内で1カ所。

注1 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ下部に1つが許される。ただし、これらのロゴマークは相互に隣接して置くことはできない。

II 国内競技会での競泳水着の取り扱いについて

本連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）の競泳競技において、着用できる水着は下記の通りです。

1 世界水泳連盟（World Aquatics）の公認した水着を着用すること。

※規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技会において参考記録扱いとなり、決勝への出場および全国大会や国際大会の標準突破記録として認められず、本連盟のランキングにも反映されません。

2 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止します。

3 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止します。

※水着の重ね着、水着へのテーピングおよび2次加工の規定に違反した場合は失格となります。



【水着や商標規定に関する注意事項】

県内の公認大会は、(公財)日本水泳連盟の規定に沿って実施されます。以下の点にご注意ください。

●ジュニア委員会主催の大会で使用できないもの

・「出場所属チーム以外のチーム名（学校名含）」の入ったもの

※水着、キャップ、セーム、ジャージ、タオル等すべて NG⇒レースに出場できません 要注意！！

※スイミングクラブから出場の際は、学校名の入ったものは、大会では使用できません

●公式・公認大会で使用できないもの

①特定のメーカー等のキャラクターグッズ（Tシャツやカバン等も NG）

OK…ぱちャぽ・コバトン グッズ

NG…ディズニーグッズ、アリーナくんグッズ 等



②「メーカーロゴ」が2つ以上入っているもの

※「asics」「arena」「speedo」「Jaked」等の文字は1か所のみ

③“大きすぎる”「メーカーロゴ」や「マーク」のもの

※「メーカーロゴ」…キャップ等は 20 cm²以内で1か所，ウェア等は 40 cm²以内で上下それぞれ1か所のみ

※「マーク」…20 cm²以内であればいくつでも OK



●その他持ち込みできないもの

・特定メーカーのラベルのついたペットボトル等⇒ラベルを剥がせば OK



大きいロゴは1つでも NG。ロゴ（文字）は1か所+大きさ制限あり

●水着に関する競泳規則

①WORLD AQUATICS（国際水泳連盟）の公認水着であること

②重ね着は NG（サポーター・胸パッドの着用不可）

③水着、身体へのテーピング禁止⇒傷テープ（絆創膏）であっても審判長の許可が必要

④水着への二次的な加工禁止



お尻のところに FINA マークのある水着のみ出場可

※上記画像や説明は、あくまでジュニア委員会の試合などの、公認・公式大会出場に関する注意事項の理解を促すために使用しており特定の商品に対して販売促進や妨害の意図を持つものではありません。ご理解ください。

レースに出場するときに持っていくもの

- ☐ 水着（胸パット・サポーターNG・FINA マーク確認）
- ☐ キャップ（素材はなんでも OK・マークの大きさやロゴの数を確認）
- ☐ ゴーグル
- ☐ 体を拭くためのセームまたは小さめのタオル（マークの大きさやロゴの数を確認）
- ☐ マスク
- ☐ マスクやジャージ等を入れる袋（マークの大きさやロゴの数を確認、キャラクターもの NG）

<注意>

- 傷テープ（絆創膏）などは審判長の許可が必要。レース時は剥がすか、事前に審判長へ申し出る。
- ヘアゴムやミサング等を手首や足首につけないこと。アクセサリ類はすべて外す。
- ジャージ等の規定も確認すること。規定で認められたもの以外は着用できない。

ドーピングって、なに？ なんでいけないの？

ドーピングとはフェアプレーの精神に反して、競技における運動能力の向上を目的として禁止物質を使用したり物理的な方法を用いたりすることです。また、チームスタッフ等が禁止物質の使用を企てたり支援したりする行為もドーピングの一種とされています。

スポーツの価値の根幹にはフェアプレーがあり、それを遵守する姿勢をスポーツマンシップと呼んで称賛します。スポーツに参加する選手全員がフェアプレーをすることによってはじめて勝敗の意味が生まれ、勝者と敗者がともに相手を讃え合う気持ちが湧いてきます。スポーツの価値として、日本アンチ・ドーピング規程（公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構）には以下のようなものが列記されています。

- 倫理観、フェアプレーと誠意
- 健康
- 卓越した競技能力
- 人格と教育
- 楽しみと喜び
- チームワーク
- 献身と真摯な取り組み
- 規則・法を尊重する姿勢
- 自分自身とその他の参加者を尊重する姿勢
- 勇気
- 共同体意識と連帯意識

このような素晴らしい価値をもつスポーツ活動はすべてフェアプレーの上に成り立っており、フェアプレーの精神に反するドーピング行為は禁止されています。



ドーピングが禁止される理由はもう1つあり、それは身体的な健康被害です。ドーピングで禁止している物質の多くは競技力向上と引き換えに健康を害します。せっかくスポーツをとおして健康なからだ、健康な精神を培ってきたのに、ドーピングによって両者ともはかなく崩れ去ってしまうのです。

ドーピングが禁止されているのは、一部のトップアスリートだけではないのです。小学生だって中学生だって、趣味として活動している中高年のスポーツ愛好家だって、「ずるいこと」をして試合に勝っても、すがすがしい達成感はありません。

さあ、これを読んだあなたがスポーツの価値を高めていく主役なのです。スポーツ活動をとおして、自分とスポーツを取り囲む文化を磨き上げていきましょう。

アンチ・ドーピングに役立つ資料

日本最高レベルの競技会
(日本選手権、国民スポーツ大会など)
に出場するレベルですか？

はい

いいえ

大会手続きに役立つ資料や
ドーピングにならない薬の情報を
お伝えします！

競技者TUEガイド



治療使用特例(TUE)の
申請は競技者レベルに
よって異なります

担当医師へのお願い



医療機関受診時に
この資料を持参し、
医師に提示しましょう

いつでも使える薬の例



禁止物質を含まない
市販薬の例が
掲載されています

日常生活においても
アンチ・ドーピングを意識しましょう

日常生活で薬について
困ったことはありますか？

はい

いいえ

役立つ薬の情報をお伝えします！

薬以外の注意喚起をお伝えします！

いつでも使える薬の例



禁止物質を含まない
市販薬の例が
掲載されています

花粉症・鼻炎の薬



禁止物質を含まず
眠気の副作用が少ない
薬を紹介しています

サプリ・栄養ドリンク



禁止物質が含まれて
いることがあるため
要注意です

ぜんそくの薬の注意点



一部の喘息の薬は
禁止されているため
注意が必要です

女性アスリート



月経痛に対する
お薬について
紹介されています

競技レベルに関係なく
すべての資料を
ご覧いただけます



まずはお気軽にご相談ください

日本水泳連盟 【アンチ・ドーピング】 【薬の相談窓口】

